

# 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月

事業所名：仙台市サンホーム

在籍保護者数 44名 回収数43枚 回収率 98%

必修項目 ○	チェック項目	はい (%)	どちらともいえない (%)	いいえ (%)	わからない (%)	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33 (77%)	9 (21%)	1 (2%)	0 (0%)	(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の子どもが活発に動いている際、もう少し広くスペースが確保されているとより安全だと思う。</li> <li>広さは十分足りている。</li> <li>確保されている。</li> <li>広々とはしていないが狭くもない。</li> <li>時々お友だちとぶつかってしまうことがある。床が滑る。</li> <li>室内で走り回ると少し危ないと感じる時があった。</li> <li>最大10名となると狭いような気がする。</li> <li>最大定員10名になれば十分とはいえない。</li> <li>コロナ禍のせいか、クラスの数全員が揃うと少し狭く感じた。</li> <li>建物の構造上、仕方ないが活動する部屋をもう1〜3畳広いほうがよい。他の施設建設の際はご検討ください。</li> <li>活動のスペースは十分確保されているが、トイレ側から出た時、急に走ってくる子がいるとドキッとす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スペースの問題は構造上のこともあり、改善が困難であるため、クラス運営面であそびの組み立て方、片づけ方、パーテーションの使い方、観わり方などで工夫、調整し、安全性と快適性を確保できるようにしたい。</li> </ul>
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	38 (88%)	4 (9%)	1 (2%)	0 (0%)	(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員配置数も充分であった。</li> <li>先生が3〜4人以上いてとても助かった。</li> <li>適切だと思う。安心して活動できた。</li> <li>よく気にかけていただいている。</li> <li>私の場合は薬の関係でお手洗いや近しいので不安だったが、しっかり子どもをみていただいていると感じた。</li> <li>専門性は先生によって違う。</li> <li>職員の能力差が大きい。</li> <li>今年度はクラスも多かったため、作業療法士の先生がもう一人いてもよいのではと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員数は国の基準で設定されているが、その日の子どもたちの状況やあそびの内容によってはフリー職員も配置している。</li> <li>保護者のさまざまな事情も汲み取りながら、保護者がトイレなどで離れるときの体制を普段からクラスメンバー間で共有し、配慮している。</li> </ul> <p>今後も上記について柔軟に実施していきたい。</p>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	38 (88%)	3 (7%)	0 (0%)	2 (5%)	(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日に活動で使うものだけが運ばれてくるので必要に応じて手作りの壁で子どもの活動がしやすいように配慮され、とても過ごしやすかった。</li> <li>本人が座りやすいように椅子に工夫をしてもなかったり、生活にいろいろ工夫されていて本人もやりやすそうだった。</li> <li>トイレの中やロッカーにしっかりとマークがあり、また椅子の置き場も分かりやすいので生活や活動がしやすい。</li> <li>子どもにもわかりやすく1人でできる工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの特性を踏まえ、過ごしやすく、わかりやすい、習慣化しやすい工夫を構造化の考え方を取り入れ実施している。</li> <li>子どもの身体状況や姿勢をアセスメントして、作業療法士を中心に姿勢保持を可能にする椅子の工夫（滑り止めシートの使用、股の支柱の設置等）を個別に実施している。</li> </ul> <p>今後も過ごしやすく、個別に応じた環境づくりを継続していきたい。</p>
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	39 (91%)	3 (7%)	1 (2%)	0 (0%)	(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつもとてもきれいで見通しよく活動がしやすい。</li> <li>いつもきれいだ。</li> <li>とてもよい。</li> <li>活動に合わせて環境の空間ができていてとても生活しやすい。</li> <li>冬場の教室は肌寒いと感じる。</li> <li>清潔さと安全性は満足だが寒い。</li> <li>床が冷たく子どもの足が冷たいことがある。</li> <li>冬場は床が冷たく、足が冷える。</li> <li>落着かせる部屋がすぐそばにあればよいと思う。（防音）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍であったこともあり、床や玩具の清掃・消毒を徹底して実施している。習慣化したので今後も継続していく予定である。</li> <li>床冷えについては、3年前から改修を仙台市に要望し、R3年度は保育室Bを実施済み、R4年度は保育室Aを実施予定である。</li> </ul>
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画Ⅱが作成されているか	40 (93%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路（幼稚園）の情報提供がもう少し早い時期から詳しくほしかった。</li> <li>とても子どものことをみて考えてくれた。親の自分も気づいていないこともあり驚いたし助かった。</li> <li>課題もあるので一つひとつに対して分析し、しっかり子どもに合わせて計画していただいている。</li> <li>とてもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路情報については地域相談員が中心となり講話や説明を実施してきたが、入園時期が4時期にわたることから勉強会日程にこだわらず、早期に実施していきたい。</li> </ul>
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」をそれぞれ実効性のあるものとして、必要項目が適切に選択され、その上を、具体的な支援内容が設定されているか	37 (86%)	3 (7%)	0 (0%)	1 (2%)	2 (5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の場以外に「情報の場」としても発信していただくとありがたい。</li> <li>すごく具体的で実践的な内容でびっくりした。「そうか、こうしよう！」と思えて助かった。</li> <li>とてもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路情報を求めていたと思うので上記記載のように早期に情報提供を進めていきたい。</li> </ul>
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	38 (88%)	3 (7%)	1 (2%)	1 (2%)	(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の日からそれに沿った向き合い方や場面を用意してもらい嬉しかった。</li> <li>とてもよい。</li> <li>いろいろなお子さんに合わせて、しっかり支援がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談時期にとどまらず、普段からの療育内容のフィードバックをして、あそびのねらいをしっかりと伝えていきたい。</li> </ul>
	⑧ 活動プログラムⅢが固定化しないよう工夫されているか。	38 (88%)	3 (7%)	1 (2%)	1 (2%)	(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>感触を楽しむもの、運動、音、色など本当に様々な活動を体験させていただき、すごく刺激になった。</li> <li>色々な内容でこんなあそびもあるんだとびっくりした。</li> <li>いろいろな工夫がされていて勉強になった。</li> <li>家ではないあそびができてよい。</li> <li>同じような事はばかりやっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおむね発達段階におけるあそびのねらいについては勉強会や懇談会を通して説明を重ねているが、伝えた内容がどう保護者により浸透したかまで確認しながら、丁寧な説明を繰り返していきたい。</li> <li>また、あえて同じあそびを繰り返して、積み重ねて自分で覚えていく力を引き出していることも理解を深めていきたい。</li> </ul>

	9	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会がある。	10 (23%)	4 (9%)	18 (42%)	9 (21%)	2 (5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園中は、交流の機会はなかった。</li> <li>・自分はそういう機会はなかった。</li> <li>・すく刺激になってしまった。</li> <li>・入園後、間もにためたわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ということもあり、交流の機会は中止していた。R5年度は、隣接する保育園などと少しずつ交流の機会をもっていく予定である。</li> </ul>
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38 (88%)	4 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な説明があった。また、仙台市には療育施設利用料について所得制限をなくしていただき本当に感謝している。</li> <li>・事前にオリエンテーションや見学があり助かった。</li> <li>・しっかり説明を受けた。</li> <li>・しっかりと説明されている。負担があると感じたことがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的事項であり大切な内容なので時間を割いて説明をしているが、R4年度は虐待防止委員会の設置や身体拘束の適正化に伴うシートベルトや固定テーブルの使用、部屋の鍵の設置などについての書類を作成し、口頭での説明を行い同意を求めている。</li> </ul>
	11	発達支援ガイドラインの「児童発達支援や障害児支援」の場から発達支援内容も、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	39 (91%)	4 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に説明してもらえた。</li> <li>・面談でしっかりお話を聞いた。</li> <li>・支援がどういうふうに行われるのか、その計画がどうなるのか、細かく説明していただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者の個別性や家庭背景も配慮して、ていねいな説明を実施していきたい。</li> </ul>
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	30 (70%)	4 (9%)	0 (0%)	2 (5%)	7 (16%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの勉強会があり、発達のことを全く知らなかったのが勉強になった。</li> <li>・さまざまな勉強会があり、とてもよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベアプロの考え方をともに勉強会を開催しているが、思いのほか保護者自身の自己の振り返りに役立っていたことから、R5年度も保護者自身の内面に働きかける大切な機会として実施していきたい。</li> </ul>
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通の理解ができていくか	41 (95%)	1 (2%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人の先生に伝えたことが次にいったときには共有されていて、かつこれからのアプローチについても考えて下さっていたりとすばらしいと感謝しかない。</li> <li>・子どもをよくみてくれてたくさんのアドバイスをいただいた。</li> <li>・いろいろな課題もあるなかで相談すると、いろいろな角度からみてくれているので不安になることが少なくなった。</li> <li>・子どもの得意不得意を理解してくれていると思う。</li> <li>・日々の療育の中で担当職員と子どもについて話した記憶が残っていない。</li> <li>・毎回健康観察があるのでその時に相談ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ということもあり、看護師を中心に各クラスで体温測定もきも健康チェックを実施していた。各クラスごと医療ケアが必要、あるいは緊急対応を要する児については、丁寧な観察と体調・情緒の聴き取りを実施していた。今後も継続していく予定である。</li> <li>・クラス担当とのコミュニケーションについては、個別職員で担当というよりチームで担当していることを説明して誤解を招かないようにしたい。</li> </ul>
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40 (93%)	2 (5%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い期間の通所だったが、何度も時間をとって話を聞いていただいた。心の負担も軽くなり、具体的なアプローチの仕方も教えていただき、とても感謝している。</li> <li>・朝などのタイミングで困っていると相談すると必ず親身になって助言や支援の仕方など話してくれる。</li> <li>・不安なことを相談するとすぐ答えてもらえ安心した。</li> <li>・日々声をかけてくれるので助かる。</li> <li>・面談がもう少し増えればいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任としてのチームでの関わりを中心に日々の声掛けや母子の心身の健康面や情緒面の観察と聴き取りを継続していきたい。サンホームならではの保護者支援の要であることを認識して関わっていききたい。</li> </ul>
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26 (60%)	2 (5%)	2 (5%)	2 (5%)	11 (26%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの療育内容というよりは保護者に対する障害児への対応のための保護者会が多い。</li> <li>・保護者交流の時間がいろいろと勉強になり、息抜きになった。</li> <li>・保護者交流の時間にお母さん達と話せてとてもよかった。</li> <li>・入園後、間もにためたわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での保護者会としての組織運営はあえて休んだが、30分間の保護者交流タイム（フレイクタイム）により、相互交流の機会は効果的だった。</li> <li>・中には保護者自身が交流が苦手という方もいるため、緩やかな関係性から繋がれるようスタッフの配慮も続けていきたい。</li> </ul>
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	39 (91%)	2 (5%)	1 (2%)	1 (2%)	1 (2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談したときにも何度も丁寧に対応していただいた。また、悩みに沿ったおすすめの本を教えてください。とても助かった。</li> <li>・進路の相談は毎回丁寧に相談していただいた。</li> <li>・現在の子どもの課題に対して色々考え、対応していただいた。</li> <li>・子どもの状況に応じてその都度対応してくれている。</li> <li>・相談するとすぐ対応してくれる。</li> <li>・相談をするとすぐ対応してくれたり、全員に必ず周知して説明と対応を考えてくれた。</li> <li>・今頃はバタバタしているイメージでなかなか話したいことを話せない時期が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今頃は、療育内に公認心理師の心理相談を積極的に取り入れて、子どもの発達の課題や保護者の育ち、家庭環境も含めてじっくり傾聴する機会を設定してきた。保護者が自分の考えを整理し、子育てへの前向きな姿勢を引き出す支援については今後も継続的に実施していく予定である。</li> <li>・クラス内での相談は限られたスタッフが1保護者の相談に相談すると事故も発生しやすくなるため、療育の安全や充実においても相談機会の別設定は効果的であった。</li> </ul>
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40 (93%)	1 (2%)	2 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に話しても先生方で共有してくれている。</li> <li>・たくさんアドバイスをもらい子どもと以前よりコミュニケーションが取りやすくなった。</li> <li>・一人の先生に話したことが他の先生にもよく伝わっている。</li> <li>・しっかりと子どもの目を見て対応してくれている。「助け」と思っている部分においてはすぐに来てくれ対応いただきありがたかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス内での共有できるシステムは定常化しているため、今後もチームワークを大切に組み込んでいきたい。</li> <li>・中にはタイムリーな相談機会ができなかった保護者もいたことから、保護者からお積極的にサインを出せるよう配慮していきたい。</li> </ul>
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	39 (91%)	3 (7%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信されている。とてもわかりやすい。</li> <li>・会報を定期的に発行していいと思う。</li> <li>・先生方からみた様子は、親の目から見える見方とは違った部分、親のいない時間のこともしっかり評価してくれて安心している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の個別性も様々なため、今後も可能な限り誰もがわかりやすい表現や伝え方を工夫していきたい。</li> </ul>
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	40 (93%)	2 (5%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を撮らないように許可を取ってから文集作成などしっかりしている。</li> <li>・気にしすぎだが、ロッカーの名前は動物マークでも良かったかなと思う。</li> <li>・安全面についてはすごく注意深くされていて安心できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカーの記名については今後早急に検討していきたい。</li> <li>・普段から外部の方が入室する際は、個人的な名前が見えないように配慮している。</li> </ul>	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	39 (91%)	3 (7%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前連絡のない避難訓練がたまにあり、よいと思う。</li> <li>・今回のコロナにおいては、感染症対策はとても大変だったと思う。しっかりと対応する旨、説明されているのでとても助かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練のマニュアルや不審者訓練のマニュアルは訓練実施後に職員で振り返りを実施し、改善・更新を実施している。今後も継続していきたい。</li> </ul>
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39 (91%)	2 (5%)	2 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の人数などもしっかりと確認されておりよい。</li> <li>・保育園に通っていない分、訓練となると難しい部分はあるので引き続き訓練を継続してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回避難訓練や年数回防災物品の点検、物品交換などを実施しているが、R4年度は避難車を常備したので今後使用方法を周知し、早期に避難車の運用訓練を実施していきたい。</li> </ul>

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	37 (86%)	1 (2%)	0 (0%)	1 (2%)	4 (9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみにしている。ここは安心できる場所というのを感じ取ってから、すこいきいきと過ごしている。家の次に好きな場所だと思ふ。</li> <li>・毎通所が楽しみで前日の夜からワクワクしているのが伝わる。</li> <li>・次の日の登園を告げると「先生とあそべる！」とにこにこしている。先生が大好きなようす。</li> <li>・好きな先生に会えるのをすこく楽しみにしている。毎回楽しそうだ。</li> <li>・サンホームに着くとニコニコしている。</li> <li>・本人にとっては、安心して思い切り遊べる場所だった。</li> <li>・登園日以外もエントランスでバスを待とうとする。</li> <li>・「サンホームいくよ」の声に反応するようになった。</li> <li>・楽しみにしているか、まだ話せないのかわからないが、いくと楽しんで友だちや周りの大人たちとコミュニケーションを取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンホーム通園が決まった保護者は障害受容過程にあり、不安や戸惑いも強い。まずは親子ともども安心して楽しく通える環境づくりや関わりを重視している。中には「帰りたくない」と隣園を渋って泣き出したりすることもある。楽しい場所、保護者にとっても安心して過ごせる場所になれるようスタッフ一同取り組んでいる。</li> <li>・楽しいあそびは、母子の関係を深める、周囲への関心を共有する、スタッフや友だちとの関わりをきっかけづくりになる、身体や言葉の発達を促す、「もっとやりたい」という主体性を引き出すなど、さまざまな成長の体験になっている。その大切さを勉強会や懇談・面談を通して一人一人の保護者にさらに浸透していくような支援をこれからも努力していきたい。</li> </ul>
	23	サンホームの支援に満足しているか	36 (84%)	2 (5%)	1 (2%)	0 (0%)	4 (9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すこく満足。迷っている方がいたら絶対におすすぬ。</li> <li>・子どもだけではなく、私自身も楽しく通所できた。</li> <li>・いつも丁寧な対応をありがとうございます。</li> <li>・とてもとても満足している。</li> <li>・とても満足している。</li> <li>・児童館の遊びと違いがわからず、療育ではなかった。</li> <li>・サンホームに通うことができて本当によかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス懇談時に保護者から「サンホームに来て安心した。楽しかった。これからも相談できるで助かる。もっと早くきたかった。」など肯定的な評価があった。今後も母子通園の意義を伝えながら実践を続けていきたい。</li> <li>・保護者の中には、個別療育的な支援内容を期待していた方もみられたことから、日頃の活動の振り返り時に丁寧な小集団療育の意味や内容を伝えていきたい。</li> </ul>

(注釈)

I 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、朝の身支度や遊びのスペースをパーテーションで区切るなど、子ども本人にわかりやすくすることです。

II 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

III 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

IV 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。